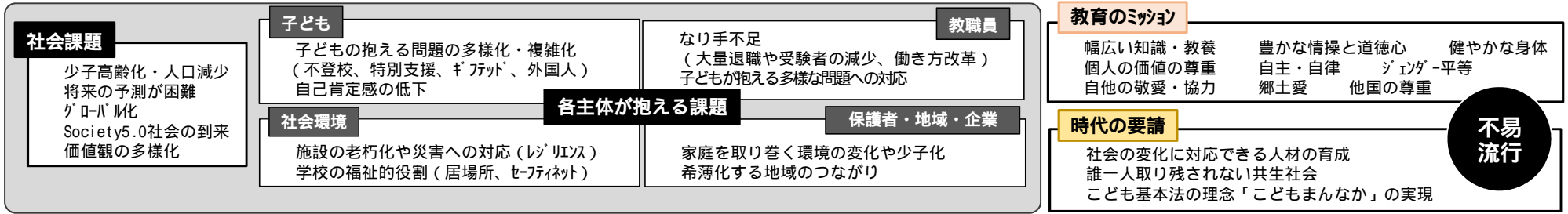


新「北九州市教育大綱」の全体像 【令和6年4月1日策定】



**不易
流行**

新・教育大綱 ～「こどもまんなか」で、質の高い教育環境の充実を～



1 こどもを枠にはめず、一人ひとりのこどもの違いを尊重する。こどもが人を支え、人から支えられ、自分の身を守れるように育てる。学校の中でも外でも、安全で安心して過ごせる居場所をつくる。

2 こどもを「社会の構成員」として尊重し、こどもの声を聴き、学校の運営に活かす。こどもや教師自身も安心して挑戦し、成長の糧とできる環境を整える。こどもの「なぜ?」と思う気持ちを大事にし、好きなことに夢中になれる環境を作ること、知的好奇心を高め、思考力を育てる。社会に開かれた教育、学校外の学びや、放課後活動の充実を進める。

3 確かな学力と健やかな体を育成する。不登校児童生徒の支援、インクルーシブ教育システムの実現、夜間中学の設置運営などを進める。人権、ジェンダー平等、多様性の理解を深め、他者を尊重する態度を養う。グローバルな視野で活躍するための資質・能力の育成と、国際理解教育の推進を図る。個々の才能を伸ばすため、ICTを日常的に活用し、リアルとデジタルの効果的な融合を進める。探究学習やSTEAM教育など、文理の枠を超えた教科横断的な学びの充実に取り組む。

4 教職員がこども一人ひとりの学びを最大限に引き出すため、専門的知識や実践的指導力、情報活用能力、ファシリテーション能力など、時代の変化に対応して求められる資質・能力を身につける。働き方改革やDXの推進、ジェンダー平等、専門人材の活用、職場における心理的安全性の確保を通じて、働きやすく、教職員同士がつながり、力を発揮できる職場づくりを進める。学校が、児童・生徒や地域との信頼関係のもとで自律的で特色のある学校づくりを進められるよう、人材の確保・育成や職場環境づくり等、教育委員会がバックアップする。

5 地域・企業、NPO等と連携し、地域(自然・歴史)を知る機会の創出、サードプレイスの確保、キャリア教育・STEAM教育の推進、放課後活動の充実、部活動の地域移行等に向けて取り組む。コミュニティ・スクールの充実・拡大を通じて、学校と地域との連携による学校運営を進める。教育に関する情報を社会全体で共有し、理解を深めながら取り組みを進めていけるよう、情報を積極的に発信する。

